

平成25年1月20日

軽金属学会北海道支部 会員
北海道アルミニウム利用技術研究会 会員 各位

北海道アルミニウム利用技術研究会
会長 北原総一郎
ホクダイ(株)取締役社長

アルミニウム技術講演会のご案内

拝啓

厳寒の候、研究会会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、これまでに概略をご案内しておりましたが、このたび北海道アルミニウム利用技術研究会の本年度第3回目と致しまして、昨年の開催で好評を戴いたアルミニウム溶湯の清浄化をテーマとする講演会(実習会)を下記のとおり開催致します。日本軽金属(株)が開発し、アルミ合金溶湯の清浄性を評価するための現場的な手法として国内外で多くの実績がある「Kモールド法」について、具体的な試験方法、試験結果の評価方法などについての講演で大変興味深い内容です。本講演により技術力向上の一助となれば幸いと存じますので、北海道アルミニウム利用技術研究会会員のみならず、本講演に興味を持つ多くの皆様のご出席をよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

開催日時；平成25年2月19日(火) 14時30分~17時30分(質疑応答を含む)

開催会場；苫小牧工業高等専門学校中講義室(室番：114)および実習室(場所は別紙参照)
(〒059-1275 苫小牧市錦岡4-4-3番地 電話；(0144)67-0213 代表)

参加費：無料

主催：北海道アルミニウム利用技術研究会、独立行政法人国立高等専門学校機構苫小牧工業高等専門学校、北海道立総合研究機構産業技術本部ものづくり支援センター、工業試験場

共催：(社)軽金属学会北海道支部

演題 「Kモールド法によるアルミニウム溶湯清浄性評価」

講師 日本軽金属株式会社蒲原FC事業グループ課長 鈴木秀紀 氏

概要

鋳物・ダイカストの品質を低下させる要因としては、鋳造技術上の問題も大きいですが、溶湯品質上の問題も極めて大きい。溶湯品質を構成する要素の中で極めて大きな問題となっているのが酸化皮膜を中心とする“介在物”であり、日本軽金属(株)が開発した“Kモールド法”は、現在では介在物による問題を解決するための道具として世界各国で利用されるようになっている。今回の講演では、高品質溶湯の確保に不可欠なKモールド法の具体的な使用方法を紹介するとともに、試験結果の評価方法を紹介する。

**参加の可否を別紙の申込票にご記入の上、FAXまたはE-mailにて(どちらか一方で結構です)2/8(金)までに事務担当者までご連絡ください。
なお、会場の都合上、参加人数を先着20名とします。お早めにお申し込み下さい。**

実際にアルミ溶湯を取り扱うので、防護面や耐熱手袋などの安全具を持参下さい。

講演会参加申込票

連絡先；

北海道立総合研究機構工業試験場 材料技術部 板橋 孝至 宛

TEL 011-747-2935 FAX 011-726-4057

E-mail itabashi-koji@hro.or.jp

以下の者の参加を申し込みます。(締め切り 2 / 8 (金))

講演会

開催日時；平成25年2月19日(火) 14時30分～17時30分(質疑応答を含む)

開催会場；苫小牧工業高等専門学校中講義室および実習室

(〒059-1275 苫小牧市錦岡4-4-3番地 電話；(0144)67-0213 代表)

参加費：無料

演題：「Kモールド法によるアルミニウム溶湯清浄性評価」
日本軽金属株式会社蒲原FC事業グループ課長 鈴木秀紀 氏

会社名 団体名	連絡担当者； お名前 E-メール		電話 ()
参 加 者			
名 前		所属または役職	

会社名・団体名の「連絡担当者」には、こちらから連絡する際のご担当者のお名前、電話番号、E-メールアドレスをお書きください。

実習会会場の御案内

アクセス



* 苫小牧高専 HP より